

環境盤基 委員会



松葉委員・渡辺委員・中箴委員・橋本委員・西田委員
溝端副委員長・水門委員長・谷澤委員

付託議案審査報告

6月定例会で環境盤基委員会に付託された事件案件3件を一括議題とし審査しました。

◆議第74号 財産の取得について

水槽付消防ポンプ自動車1台を購入しようとするもの。
○水槽付消防ポンプ自動車1台の取得価格
4,485万2,400



同型の水槽付消防ポンプ自動車

○取得の相手方
丸新消防株式会社

◆議第75号 財産の取得について

消防ポンプ自動車C D-I型2台を購入しようとするもの。
○消防ポンプ自動車C D-I型2台の取得価格3,294万円
○取得の相手方
丸新消防株式会社



同型の消防ポンプ自動車(CD-I型)

◆議第76号 財産の取得について

高規格救急車1台と救命処置用資器材一式を購入しようとするもの。
○高規格救急車1台・救命処置用資器材一式の取得価格
2,985万4,680円
○取得の相手方
丸新消防株式会社



同型の高規格救急車

審査内容

論点① 入札の執行状況 開契約の経緯は。

答 指名競争入札にて議第74号・75号では12社を指名し、4社が応札した。議第76号の高規格救急車では10社を指名し2社が応札。救命処置用資器材一式では

10社を指名し3社が応札した。
問 落札業者が全て同じだったか。

答 指名業者はそれぞれの区分で登録された業者を選定している。応札業者についても、業者登録は適正になされている。また、受注機会の確保という点に配慮して発注している。

問 議第74号は昨年度も同型の車両を取得しているが価格が高いのでは。

答 水槽付消防ポンプ自動車は交通救助用資器材を併せて整備したため、増額となった。

**論点②
車両や資器材の更新等の考え方**

問 更新対象車両の経過年数は。

答 水槽付消防ポンプ自動車は23年経過、消防ポンプ自動車はいずれも20年経過、高規格救急車は15年経過している。車両整備計画により消防車両は概ね22年、救急車両は15年経過で更新している。

問 高規格救急車に積載する救命処置用資器材は車両と同じ間隔で更新するのか。

答 救命処置用資器材の更新については、車両更新と同時に整備し、不具合を生じた場合は、その都度対応する。

以上のような審査の結果、議第74号から議第76号は、全員一致で可決すべきものと決しました。

今回の付託議案の審査は消防に関する財産の取得でした。消防団を応援するスッカーをご存知ですか。いざというとき頼りになる消防団をみなさんで応援しましょう。

